

令和4年度 第1回安曇野市図書館協議会 会議概要

1	審議会名	令和4年度 第1回安曇野市図書館協議会
2	日 時	令和4年7月15日 午後1時30分から午後2時46分まで
3	会 場	安曇野市穂高交流学習センター 多目的交流ホール
4	出席者	竹内委員、鬼塚委員、初谷委員、田守委員、古川委員、鈴木委員、鈴木(研)委員、黒澤委員、杉本委員、望月委員、西村委員
5	市側出席者	橋渡教育長、山下文化課長、金子豊科図書館長、冨田三郷図書館長、伊藤堀金図書館長、青木明科図書館長、奈良澤係長、松田主任
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人
8	会議概要作成年月日	令和4年7月31日

○会議の概要

- 1 開会 (山下課長)
- 2 あいさつ (橋渡教育長)
- 3 自己紹介
- 4 図書館協議会の役割について
- 5 会長・副会長の選出
- 6 協議事項
 - (1) 令和3年度安曇野市図書館事業報告について
 - (2) 令和4年度安曇野市図書館事業計画について
 - (3) その他
- 7 その他
- 8 閉会 (山下課長)

6の協議事項概要

議 長 「令和3年度安曇野市図書館事業報告」を事務局よりお願いしたい。

事務局より説明。

事前質問の回答

- (1) について、推進事業はすべて★計画数字となっていたが推進数字と変えたのはなぜかとのご質問。

経緯は、令和2年度図書館協議会において委員より基本方針が展開され計画に反映されているかわかるようにとのご指摘を頂き、基本方針の番号を計画に明記してお

り、その後令和3年度第2回図書館協議会で、やはり委員より基本方針より事業計画の推進事業の番号がわかりやすいのではないかとのご意見があり、令和3年度第3回図書館協議会から現在の表記となっている。

(2)については、各資料p1、p5、p14にある「★計画」の部分を「★方針」に修正をお願いしたい。

(3)について、コロナ禍で以前の利用は戻っていないとあるが、以前のレベルに対してどの程度なのかとのご質問であるが、当日資料の3の方を御覧いただきたい。令和1年度の実績比では、利用者数で82.2%、貸出点数で85.6%となっている。

(4)について、読書通帳で100冊到達者のアンケートを取ってみてはいかがとのご提案、(5)については、本のテイクアウトを発展させて司書に読書通帳をみてもらい本を紹介してもらうのはいかがとのご提案をいただいた。ご意見として参考にさせていただく。

(6)について、レファレンスという言葉の言い回しを、相談、調査というように併記したらどうかとのご意見。窓口でも分かり易くするため、相談、調査と表示しているが、探しもの、調べものの方が分かりやすいので努めて使っていく。

議長 事務局より令和3年度の事業報告について説明いただいた。本当は質問をお受けするところだが、本日は内容が沢山あるため、ご意見ご質問のある方は、次回の協議会の前までに事務局の方にお知らせ頂きたい。続いて「令和4年度安曇野市図書館事業計画」について事務局より説明をお願いしたい。

事務局より説明。

事前質問の回答

(1)について、前回資料の案から推進事業の一つに子ども読書活動推進計画の策定準備が追加されたが実施事業に具体的事業がないのはさみしい。読書通帳に推進9と言う事で加えてもいいのではないかとのご提案を頂いた。子ども読書活動推進計画については準備を進めているが、読書通帳については、子どもだけの企画ではないため組み込みは難しいと考えている。

(2)について、電子図書館がスタートするので推進事業(8)には電子図書館の推進を入れてはいかがかとのご提案。加筆する。

議長 事務局から説明いただいたので皆様からご意見を伺いたいところであるが、この後

に協働電子図書館についてと安曇野市教育大綱についての話もあるため、ご意見等あれば図書館にお寄せ頂き協議を終了としたい。

委員 最初の協議会と言う事で説明が多いと言う事はわかるが、これでは協議会としての役割を果たせないのではないか、もう少し弾力的に運用していただきたい。もう一点、協議会の在り方に対する問題で、この時期に、昨年度の事業の報告と既に開始している事業に対して説明を受けているが、本来であれば3月の下旬くらいに年度の報告を受けて翌年度こういう事業をやったらどうかと、その意見、提案したい意見を述べて、それを踏まえて計画を出して進行して頂くということではないか。ただ話を聞いて質問を後でと言う事になると、協議会の義務を果たせないのではないかと思うが如何か。

事務局 今日は事前に3時までと言う事でご通知してあり、ご迷惑をおかけしないと言う事の中で議長に進行をお願いした。もう少しお時間よろしければ、2時間とし3時半の終了としてよろしいか。

次に事業計画については、昨年10月にまず概要をお出しし、前回の第3回協議会には意見をお出しただいて既に集約させて頂いているところである。既にこの計画に沿って運用を開始しており、次回10月には来年度の事業計画にご意見を頂くような機会になる。事業報告については、本日ご意見等を出していただきご協議いただきたい。

議長 それではもう少しお時間をいただき、事前に質問を頂いた方以外に、特に今期新しく委員になった方にご意見を頂けるとありがたい。公募で委員になっていただいた委員さん、何かあればお願いしたい。

委員 私は初めてであるため、感じた事だけお伝えする。図書館を利用する人はお子さんやお母さん、シニアの世代が多く、そういった方たちが図書館を利用したいのであれば時間があるから来られる。社会人として仕事をしている人たちも、本来であれば何かに参加する機会があってもよい。社会人は忙しいため、そういうところまで気持ちが回らないものもあるが、事業計画でこれに参加してみようという気になるものがあるとよい。

議長 事務局。今のご意見は、働く世代の方も参加してみようといった内容企画をとのことであるが。

事務局 実際、学生や働いている世代は、企画をしても参加していただくことがあまりなく、本を借りていく機会も少ない。働く世代の人に来ていただけるように考えていきたい。

議長 では、もうお一人如何か。

委員 リクエストで所蔵があるものについてはインターネット予約ができるが、所蔵がない

新しいものを購入してもらう時はインターネットではできない。これは不便なので何とかしてほしい。それから地元のボランティア、その人たちを育てるような、ボランティアの為の講座を開いているというようなことがあるので、大人のための絵本講座が人気だったと書いてあり、続けてやってもらえたらと思った。

事務局 リクエスト本のデジタル化は考えていかなければいけないことであるので、ご意見として頂いておく。ボランティアの育成は、読み聞かせに限らず、同じ講座ができないときはある。ボランティア育成には力を入れていきたい。

議長 では、もう一人。

委員 よく説明を聞かせていただき、それぞれの図書館がとても工夫されている。子どもの立場から考えると、読書好きの子が自分の心を耕し、知識を広げ、そんなことができる催し物を多く設定して頂くと大変ありがたい。それから、読書に気が向かないようなお子さんは、楽しい催しものが計画されていると、ちょっと行ってみようかという気持ちになって、読書の世界にも自分でも入って楽しめるのではないかなと思う。

最近学校の方でも、調べ学習などネットで見られるようになってきているので、これからどんな風に調査活動とか見直していったらいいのか課題になってくるころかと思う。その中でも、デジとしよ信州の案内をみさせていただいたが、こうゆうものが子どもたちの活動に生きてくるのではないかと思った。

議長 では、もう一人。

委員 令和4年度図書館事業計画1ページ、推進事業3の(2)さまざまな学びの場になるよう読書活動推進のための研修会をと、図書館に関係している方々の研修なのか。図書を利用する一般市民、小学生、幼稚園の子どもたちもそうであるが、私もたまたま幼稚園、小中学校の授業の手伝いをしていて、リアリティーがでてきた。今、定義付で生まれた時から当たり前と思って育ててしまっている子供たちに、当たり前を見直す工夫をしている。おじいちゃんおばあちゃんに会った時に、今当たり前と思っていることが昔はどうだったかといった話をしてもらおう。最近SDGsなどと言うが、これも根本は日常の生活の中で大人も当たり前をいかに見直すかっていう切り口から、かなり具体的な非常に日常生活に直結した話題をやるとものすごい地域の違いが出るかもしれないし、そんなことを抜きにして共通の条件とか、日常生活と直結したそういうリアリティーさを増やすような仕掛けを色々考えていただきたい。

事務局 図書館は、生涯学習として小さいお子さんから、一生涯と言う事で考えており、各年

齢にあったようなイベント企画を考えて、偏りがないようにしている。来ていただけない世代の方たちにも来ていただける企画を考えていきたい。

議長 では、もう一人。

委員 一点は、予定されている百科事典のポプラディアの使い方を提供して調べてもらうといった子どもたちを対象にしたものがあるが、今子どもたちはネットに接触する機会が多くあり、インターネットを通じて調べていると思うが、ネット検索の仕方を学んでいくことも考えてはどうか。百科事典になっている時点でもう情報は古く何年か前の情報であるため、最新の情報で子供たちは調べていると思う。

もう一点は、又図書館協議会のあり方に関わることであるが、昨年までの議論で協議会のほかに勉強会をやった。別途集まるのは大変であることから、今年も会議が終わった後に分科会的なものを設定して、選書、デジタルなど、いくつかテーマを決めて分科会をやってはどうか。どのくらい時間とれるかわからないが、成果、形がでるのではないかと。

事務局 学校現場でも、子どもたちのネット調べは、あまりにも情報量が多すぎて、絞り込みがなかなかできないためテクニックがいる。学校でも取り組まれていることと思うが、そこを踏まえ図書館でも考えていきたい。

協議会のあり方について、昨年、強会という形でお時間をいただいた。できるとしたら協議会の後のお時間を頂ければ可能かと思うが、実際去年は、協議をする時間が延びてしまい30分程度であった。他の方のご意見は如何か。全体のご意見をお聞きし、よろしいようであればご用意する。

議長 今事務局の方から図書館協議会のあり方についての分科会的な勉強会を開催するかの話があった。次回10月の協議会の後、勉強会してもいいとお思いの方、挙手をお願いしたい。

民主主義だと大多数の方が賛成であるため、次回勉強会という形にさせていただきたい。時間の都合上、今回のように質問ご意見等は先に事務局に出していただければ勉強会の時間も長くとれるためそのようにお願いしたいが如何か。（了承）

では、ご意見をもう少しお聞きしたいところであるが、協働電子図書などのお話があるため、図書館協議会の協議事項は以上をもって終わりにさせていただく。

以上